

事業所名

児童デイサービス はみんぐfun

支援プログラム（参考様式）

作成日

R7 年

2 月

5 日

法人（事業所）理念		遊びを通して発達を促すアプローチを行い、社会性や生活能力・人とのコミュニケーション能力の向上を図る。			
支援方針		個々の好きな遊びを存分に楽しむことを通して、場や物を共有する際の様々なルールを知り、獲得していく中で、自分の気持ちや意見を表出できる自主性を育み、他者とコミュニケーションを図るために必要な能力の向上を支援する。			
営業時間		12 時 0 分から 20 時 0 分まで	送迎実施の有無	あり なし	
支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	・手洗い、検温、衣服や荷物整理、排泄とその後の処理の確立など、身の回りの自立を促す支援を行う。・体調に考慮しつつ、戸外活動の取り組みで体力や運動機能の向上を図る。			
	運動・感覚	・様々な場面を通して、机に向かう姿勢や床での座位など、生活の中で必要な体幹や筋力の向上を支援する。・感覚の特性（過敏や鈍さ）に応じて、必要な環境整理を行う。			
	認知・行動	・おやつを利用して、偏食やこだわりの改善を図る。・視覚や聴覚、触覚などの感覚から、情報を適切に得られるように支援する。 ・これまでの経験を用いて、その場の状況や環境を理解できるよう支援し、適切な行動や判断につなげていく。			
	言語 コミュニケーション	・言語だけでなく、表情や身振りなど様々な表出方法の獲得を促す支援を行う。・個々の発達や認知・理解の特性に応じた支援を行い、言語の獲得や読み書きの能力向上を促す。 ・他者とコミュニケーションを図るために必要な、共通の環境理解や行動理由の理解に繋がる支援を行う。			
	人間関係 社会性	・環境や人に対する安心感や信頼感を形成し、それを元に自尊心や自身への信頼感が育める支援を行う。 ・「安心して過ごせる場所」であるように努め、安心出来る大人を介して、自身の得意・不得意や行動の特徴を理解するとともに、気持ちや言動の調整ができるように支援する。 ・集団に参加するための手順やルールを理解し、遊びや集団活動に参加できるよう支援するとともに、共に活動することを通じて、相互理解や互いの存在を認め合いながら、仲間づくりにつながるよう支援する。			
家族支援		・子育てや家庭環境・学校での困りごとなどの相談支援。 ・同事業所の居宅介護の利用に関する相談支援と提携。	移行支援	・ライフステージの切り替えを見据えた将来的な移行に向けた準備 ・同事業所の就労継続支援事業所への見学や体験につなげる。	
地域支援・地域連携		・学校等との連携や調整、支援方法や環境調整等に関する相談援助。 ・障害児相談支援事業所等との連携	職員の質の向上	・外部研修への参加 ・児童のケース会議や支援方針のカンファレンス。	
主な行事等		誕生日会、こどもの日パーティ、水遊び、クッキング、ハロウィンパーティー、クリスマス会、映画上映会、雪遊び、長期休みや祝日のレクリエーション（ボウリング、カラオケ、円山動物園、新千歳空港、芸術の森、JRタワー、初もうでなど）			